

競争入札経過調書（総合評価落札方式(除算方式)）

件 名 加世田基地局舎外1棟撤去工事

開 札 年 月 日 令和4年9月30日 (落札決定日 令和4年10月28日)

入 札 執 行 官 署 大阪航空局

落 札 金 額 ￥ 76,450,000 -

落 札 者 津曲工業株式会社

予 定 価 格 ￥ 100,749,000 -

積 算 額 ￥ 100,749,000 - 入札書比較価格（予定価格の100/110） ￥ 91,590,000 -

調 査 基 準 価 格 ￥ 92,689,080 - 調 査 基 準 価 格 の 100/110 ￥ 84,262,800 -

基 準 評 価 値 109.182

低入札価格調査実施済 第1回目落札

入札参加者	評価点 (満点152点)	第1回入札			第2回入札			摘 要
		入札金額	評 価 値	評 価 値 ≥ 基準評価値	入札金額	評 価 値	評 価 値 ≥ 基準評価値	
津曲工業株式会社	113.5	69,500,000	163.309	○				落札
株式会社田川組	-	94,000,000	-	-				
株式会社今給黎建設	-	103,000,000	-	-				
株式会社上東建設	-	無効	-	-				
株式会社江藤建設工業	-	無効	-	-				

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額である。
 ※ 予定価格（入札書比較価格）の範囲内の入札金額であり、評価値の最も高い者を落札者とする（なお、その範囲に満たない入札金額の場合は、各点数を表示しない。）。
 ※ 評価値は、評価点を各回入札の入札金額（億単位換算）で除して算出する（小数点以下第3位まで表示）。
 ※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額（1円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。
 ※本件は、予算決算及び会計令86条第1項の規定に基づく調査を実施し、令和4年10月28日に落札者を決定した。

低入札価格調査の実施概要（建設工事）

件 名：加世田基地局舎外1棟撤去工事

発注機関名：大阪航空局

調査対象業者：津曲工業株式会社

項 目	内 容	
(1) その価格により入札した理由	調査対象者は、協力業者と連携して工事を行うことで、外部解体用仮設足場の資材調達・施工・人的協力が得やすい環境にあること、更に今回の工種においては会社として施工経験も多いということで経費が削減されており、発注意欲の強い表れであることをヒアリングにより確認した。	
(2) 契約対象工事付近における手持工事の状況	配置を予定している監理技術者の手持ち工事の状況を確認したところ、現在施工中の手持ち工事は無く、技術者は専任で配置することとしていることから、適正であると思料される。 また、追加で配置予定の現場代理人についても現在施工中の手持ち工事は無いことから、現場代理人の配置に問題はないものと思料される。	
(3) 契約対象工事に関連する手持工事の状況	配置を予定している監理技術者の手持ち工事の状況を確認したところ、現在施工中の手持ち工事は無く、技術者は専任で配置することとしていることから、適正であると思料される。 また、追加で配置予定の現場代理人についても現在施工中の手持ち工事は無いことから、現場代理人の配置に問題はないものと思料される。	
(4) 契約対象工事箇所と入札者の事業所、倉庫等との地理的条件	当該工事場所である加世田基地局と調査対象者は30km程の距離に位置しているが、緊急時の際は即応する体制を確保できることから、現場管理等の対策が不十分であるとは言えない。	
(5) 手持資材の状況	当該工事における仮設資材については、下請会社及びリースにて対応予定であることを確認した。	
(6) 資材購入先及び購入先と入札者との関係	撤去工事のため、資材は埋戻し用の砂程度であるが、購入については、長年取引がある協力業者からの紹介により、廉価で計上することができることを確認できた。	
(7) 手持機械数の状況	当該工事で使用する機械のうちトラクターショベル及び油圧ショベルについて、手持ち機械の活用が可能であり、損料計上が優位にあることを提出資料により確認できた。	
(8) 労務者の具体的供給見通し	各工種別に労務者を確保し適切に配置する予定であることを確認できた。	
(9) 過去に施工した公共工事名及び発注者	・旧鶴田中学校校舎杭引抜工事（さつま町） ・農林水産省公務員宿舎（中山）解体工事（農林水産省） 他3件	
(10) 経営内容	財務の健全性について、自己資本比率は88.81%と一般的な指標である20～25%と比較して高い数値である。 経営の安全性については、会社が何%の売上高の減少に耐えるかの目安となる経営安全率（※1）が、-5.922%とTKC経営指標のデータベース（※2）から求めた赤字企業の平均は-7%、黒字企業の平均は8%であるため、施工期間中に履行不能となる可能性は低いと考える。	
(11) (1)から(10)までの事情聴取した結果についての調査検討	当該業者について、上記調査結果に基づき本契約の内容に適合した履行が為されないおそれがあるとは認められなかった。	
(12) (9)の公共工事の成績状況	過去に施工した公共工事を確認したところ、過去5年間（平成29年4月1日以降に完成・引渡し完了した工事）において、同種工事（撤去工事）として国1件、独立行政法人1件、地方公共団体1件、特殊会社2件の計5件の施工実績があり、国発注工事の工事成績評定は69点であり、概ね適切な施工が行われているものと思料される。 また、調査基準価格を下回る価格で受注した工事が2件あり、発注者へのヒアリングにより特に問題なく施工が完了していることが確認できた。	
(13) 経営状況	照会先 西日本建設業保証（株）→取引の実績なし。 津曲工業（株）→会社更生法手続き開始、民事再生法に基づく再手続き等についてはいずれもなし。 また、財務諸表についても履行がなされないという状況は見られない。よって、経営状況については問題はない。	
(14) 信用状況	法令違反の有無	無
	貸金不払いの状況	無
	下請代金の支払遅延状況等	無
(15) その他の必要な事項	無	